



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Hiroyuki TAKAKURA, et al.

Application No.: Unassigned

Group Art Unit: Unassigned

Filed: August 8, 2001

Examiner: Unassigned

For: INFORMATION CONVEYING SYSTEM AND METHOD, AND STORAGE MEDIUM
THEREOF

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith
a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-044627

Filed: February 21, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the
requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: August 8, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

10978

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2001年 2月21日

願 番 号
Application Number:

特願2001-044627

願 人
Applicant(s):

富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

BEST AVAILABLE COPY

2001年 4月13日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願
【整理番号】 0052674
【提出日】 平成13年 2月21日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06K 7/00

G06F 15/04

【発明の名称】 情報伝達方法

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 ▲高▼倉 裕幸

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 酒井 憲一郎

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 前田 智司

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 野田 嗣男

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100074099

【住所又は居所】 東京都千代田区二番町 8 番地 2 0 二番町ビル 3 F

【弁理士】

【氏名又は名称】 大菅 義之

【電話番号】 03-3238-0031

【選任した代理人】

【識別番号】 100067987

【住所又は居所】 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾 7 - 2 5 - 2 8 - 5 0 3

【弁理士】

【氏名又は名称】 久木元 彰

【電話番号】 045-573-3683

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012542

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705047

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報伝達方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報提供者側が情報配布者側が配布する配布物を介して消費者側に情報を伝達し、前記情報提供者側と前記消費者側との間の双方向の情報交換を行う情報伝達方法であって、

前記情報提供者側若しくは前記情報配布者側は、前記情報提供者側から前記消費者側に伝達する伝達情報をデジタルデータを記録するパターン情報に変換し、

前記消費者側は、配布物に印刷された前記パターン情報を復元し、前記パターン情報から復元した伝達情報に基づいて、前記情報提供者側若しくは前記情報配布者側に前記伝達情報に対する応答情報を返信することを特徴とする情報伝達方法。

【請求項 2】 前記伝達情報は、前記情報提供者側が前記消費者側に提供する提供情報、前記応答情報を返信する為の返信情報及び前記消費者側の置かれている環境を判断する格納プログラムのうち少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報伝達方法。

【請求項 3】 前記格納プログラムは、前記消費者側がネットワークに接続可能であればネットワークに接続して前記応答情報を返信し、ネットワークに接続可能でなければ該ネットワークに接続しない方法による返信に必要な情報を提示し、或いは前記消費者側の端末を識別することを特徴とする請求項 2 に記載の情報伝達方法。

【請求項 4】 前記情報提供者側は、前記配布物に対し該配布物の種類を識別する配布物識別子を設定し、該配布物識別子を前記伝達情報と共にパターン情報に変換することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 つに記載の情報伝達方法。

【請求項 5】 前記伝達情報は、懸賞の当落を判断する為の情報、前記懸賞の当落を判断する為の情報及び前記消費者側に設定されている識別情報から懸賞の当落を判断する当落判断プログラムを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 つに記載の情報伝達方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、企業側が消費者に提示する様々な情報と、消費者側から企業側へ伝達する情報の伝達を円滑に進め、企業と消費者の間の双方向の情報交換を円滑に行う為の情報伝達システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来技術】

現在、企業等の情報の提供者が消費者に対して情報を提供し、その情報に対して応答を得る方法の1つとして、新聞や雑誌に伝達したい情報を載せて消費者から応答を得るやり方が取られている。

【 0 0 0 3 】

また企業側（情報提供者）が消費者から固有情報を獲得する方法の一つとして懸賞付きアンケートが行われている。懸賞付きアンケートでは、企業側は雑誌や新聞、チラシ広告等にアンケートを載せてアンケートを実施して消費者から様々な情報を獲得し、消費者はアンケートに答える代償として景品等を得る。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

消費者が情報提供者へ情報を返信する場合、ネットワークに接続したパソコンや携帯電話等の端末を利用すれば、容易に情報を伝達できる。しかし

- 1) ネットワークアドレス等情報の伝達先を入力する手間がかかる。
- 2) 情報提供者からの情報が、雑誌に記載された文字、図、写真だけでは消費者の意欲をかき立てるのに十分ではない。
- 3) 情報の返信先が複数ある場合、これらを掲載するのに紙面を大きく取られてしまう。

等の問題がある。

【 0 0 0 5 】

また従来の懸賞付きアンケートの方法は、

- 1) 消費者は答えたアンケート情報を葉書やFAX等を用いて企業側に送らなけ

ればならない為、応募に手間がかかる。またこの手間が消費者のアンケートへの参加意欲をそぐ要因ともなっている。

2) ある一定の応募期間を設け、期間終了後に応募者の中から当選者を選出しているため消費者は、アンケートに答えてから当選発表までの間長い期間待たされる。

3) 企業側では、葉書や F A X の形で集まってきたアンケート結果を手作業で集計しなければならない。

【 0 0 0 6 】

といった問題がある。

またインターネットを用いて W e b ページ上で行う懸賞付きアンケートも行われているが、この場合でも一定の応募期間を設けて期間終了後に当選発表を行う為、消費者は応募してから当選発表されるまで長い期間待たされるという問題があった。

【 0 0 0 7 】

以上の問題を鑑み、懸賞付きアンケートの主催者側と応募側双方の手間を軽減する仕組みを持つ情報伝達システムを提供することを課題とする。

また、情報提供者側である企業と応募側である消費者の間の双方向の情報交換を円滑に行う為の情報伝達システムを提供することを課題とする。

【 0 0 0 8 】

更に、インスタントくじのように、その場ですぐに当選落選の確認が可能で、消費者や主催者の手間のかからない懸賞方法を提供することを課題とする。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

上記問題点を解決する本発明による情報伝達方法は、情報提供者側と消費者側との間の双方向の情報交換を行うことを前提とする。

【 0 0 1 0 】

上記情報提供者側は、該情報提供者側から上記消費者側に伝達する伝達情報をデジタルデータを記録するパターン情報に変換する。

上記伝達情報は、応答情報を返信する為の返信情報及び上記消費者側の置かれ

ている環境を判断する格納プログラムのうち少なくとも1つを含む。また上記格納プログラムは、例えば上記消費者側がネットワークに接続可能であればネットワークに接続して上記応答情報を返信し、ネットワークに接続可能でなければ該ネットワークに接続しない方法による返信に必要な情報を提示する。

【0011】

上記消費者側は、上記配布物に印刷されたパターン情報を復元し、上記パターン情報から復元した伝達情報に基づいて、上記情報提供者側に上記伝達情報に対する応答情報を返信する。

【0012】

本発明によれば、情報提供者側から消費者側への情報伝達と共に消費者側から情報伝達者側への情報伝達も円滑に行うことが出来る。また情報提供者側及び消費者側の情報伝達のための手間を軽減することが出来る。

【0013】

また上記伝達情報に、懸賞の当落を判断する為の情報、上記懸賞の当落を判断する為の情報及び上記消費者側に設定されている識別情報から懸賞の当落を判断する当落判断プログラムを含む構成にすることにより、その場で当落が判る懸賞を実現することが出来る。

【0014】

【発明の実施の形態】

以下に図面を参照しながら本発明の一実施形態について説明する。

図1は本実施形態の基本原理の説明図である。尚以下の図面で①、②・・・等の数字は各図面内のものと対応している。

【0015】

本実施形態では、1)企業側(情報提供者)から消費者側に伝える情報(文字、動画、静止画、音声等)、2)消費者側が企業側に伝える情報の送り先、3)消費者側の置かれている環境や消費者がどのような伝達方法を用いるかを判断や消費者側の端末の識別等を行うプログラム、を非読かつ可逆復元可能なパターン情報に変換して格納する。そして新聞社や雑誌社などの情報の配布者がこのパターン情報を雑誌や新聞等に印刷して消費者に配布する。

【 0 0 1 6 】

消費者側では、印刷物として手に入れたパターン情報をスキャナ等の光学的読取装置で読み取り、事前に配布してあるアプリケーションプログラムでデコード等を行って復元し、コンピュータ上に表示する。

【 0 0 1 7 】

まず企業側は、アンケート内容等消費者に伝達する様々な情報を非読かつ可逆復元可能なパターン情報に変換し、これを広告料と共に配布者に渡して掲載を依頼する。新聞社、雑誌社、広告会社等の情報の配布者は情報提供者から受け取った情報を雑誌や新聞、チラシ広告等の媒体に印刷して載せ、この媒体を消費者に配布する。尚、パターンコードへの変換は、配布者が行うのではなく、企業側が事前にパターン情報に変換したデータを配布者に渡し、これを配布者が配布物に印刷する手順としても良い。

【 0 0 1 8 】

配布物を手に入れた消費者は、このパターン情報をスキャナ等の光学的読み取り機器を利用して読み取った後、その読み取りデータをコンピュータ上で復元することにより、パターン情報に含まれている情報を企業側から受け取ることが出来る(②)。そしてコンピュータ上に表示された情報に対して、消費者側から企業側に直接、或いは配布者を介して(配布者が収集して情報提供者に渡す場合)返信を行う。

【 0 0 1 9 】

企業側から情報を受け取った消費者側では、受け取った情報に対して何らかの情報を企業側に返信する場合、企業側は情報の送り先(アドレス)を消費者に提示する必要がある。ここで消費者から企業への情報伝達方法としては、インターネットやパソコン通信のネットワーク通信、葉書等の郵便、FAX、電話などが考えられるがこれら以外の方法でも良い。このとき、パターン情報内に格納されている格納プログラムは、消費者がどのような伝達方法を用いるかを判断し、対応した伝達方法に合わせた情報の送り先についての情報を消費者に提示する。そして消費者は提示された送り先についての情報を用いて情報を送信する。

【 0 0 2 0 】

図 2 は、本実施形態の情報伝達システムで用いられるパターン情報の例を示す図である。

パターン情報は、バーコードのように白黒のパターンによってデジタルデータを記録するもので、バーコードが水平方向（1次元）のみで情報化されているのに対し、水平方向と垂直方向の2次元で情報を記録することによって、従来のバーコードに比して、同一面積あたりに記録できる情報量を格段に高くしたことを特徴としている。尚パターン情報としては、白黒のパターンを用いて情報を記録するもの以外にも、色差等を利用して情報量を大きくした多次元コードを利用したものでも良い。

【0021】

またこのパターン情報は、印刷物からパターンを読み取るスキャナ等の光学的読取装置の解像度が高いと、それに比して情報密度を上げることが出来るので、光学的読取装置の性能向上によって格納する情報量を上げることが出来る。例えば300dpi程度の光学的読取装置で判読可能な密度のパターン情報では、数センチ角の大きさに1～2kバイト程度の情報を格納できる。この場合でも、単に文字を印刷した場合より格段に大きな情報密度を持つが、光学的読取装置の性能が向上して例えば1200dpi程度で判読可能な記録密度にした場合、同じ面積のパターン情報に数倍～数十倍の情報量を格納することが出来る。

【0022】

このパターン情報による記録方式は、各方面から様々な方式が提案されているが、本実施形態で用いるパターン情報は、特に1つの記録方式に依存するものではなく、記録する内容や印刷対象等によって適宜なものが選択されて用いられる。

【0023】

このパターン情報はバイナリデータも格納できるので、パターン情報を印刷することによって企業側から消費者側に伝達できる情報としては、従来の印刷物のような文字や静止画像による情報の他に、音声、動画、URL等のネットワークアドレス、プログラムデータによる情報を用いることが出来る。このように、非読かつ可逆復元可能なパターン情報を利用することによって文字情報以外にも音

声、静止画、動画等のマルチメディア情報や、プログラム等様々な情報を使った従来よりも魅力的な情報を消費者に提供することが出来るので、例えばこれをアンケートに用いれば、企業側ではより多くの消費者からの回答を受け取ることが期待できる。

【 0 0 2 4 】

また、消費者側はアンケート以外に様々な魅力的な情報を享受でき、更にアンケート結果の送信も、消費者に合った伝達方法で送信することができる。

更にパターン情報を利用することで、アンケートをそのまま紙面に印刷していた従来の方法に比較して、同一量の情報を印刷するのに占有する紙面のスペースを少なくすることができる。更に新聞のように白黒印刷の紙面であっても、パターン情報の中に画像や映像などの情報を格納でき、消費者に伝えたい情報をよりアピールすることができる。従って、一般に新聞等の掲載料は、その面積に比例し、またカラー印刷の場合白黒より高価なので、従来の方法より安価で、より高い効果を期待できる。

【 0 0 2 5 】

次に図 3 を用いて B O O K I D について説明する。

パターン情報を印刷する配布物は、新聞、雑誌、店頭パンフレット、チラシ広告等が考えられる。これらの配布物 3 1 毎に固有番号 (B O O K I D) を定め、この固有番号をパターン情報内に格納して、消費者に配布する。

【 0 0 2 6 】

図 3 では、新聞 A、新聞 B、雑誌 A 及び雑誌 B の 4 種類の配布物 3 1 - 1 ~ 3 1 - 4 に対してそれぞれ、 B O O K I D 3 2 として 0 0 1、0 0 2、0 0 3 及び 0 0 4 が設定されており、各刊行物に印刷されたパターン情報内には、その刊行物の種類ごとの対応する B O O K I D 3 2 が記録されている。

【 0 0 2 7 】

そして消費者からアンケート結果が送られてくる際、この B O O K I D 3 2 も一緒に送信されるようにすることによって、消費者がどの配布物 3 1 を見てアンケートに応募したかという情報を得ることが出来、各配布物の宣伝効果を調べることが出来る。

【 0 0 2 8 】

またこのような固有番号をアンケートの種類ごとに定めてパターン情報内に格納することによってアンケート内容が複数種類あっても、その種類をこの固有番号で識別することで、アンケート結果を自動的に振り分けて集計することが可能となる。

【 0 0 2 9 】

次に本実施形態の情報伝達システムで行われる消費者側から企業側への情報の伝達について説明する。

図 4 は、本実施形態での消費者側から企業側への情報の伝達についての説明図である。

【 0 0 3 0 】

消費者から企業側へ情報を伝達する方法は、インターネットやパソコン通信、葉書等の郵便、FAX、電話などが考えられる。本実施形態では、配布物に印刷するパターン情報 4 1 の中に、プログラム 4 3 を挿入する。

【 0 0 3 1 】

この格納プログラム 4 3 は、パターン情報内の各情報を用いて表示するアンケート等の情報を消費者のコンピュータ上に再生する処理や、アンケートに対する応答の伝達方法を消費者に状況に合わせた伝達方法を選択させる処理等、企業側と消費者側と間の情報伝達を円滑に行う為の処理を行う。

【 0 0 3 2 】

この格納プログラム 4 3 は、単独のプログラムとして構成するとプログラムコードの大きさが大きくなってしまうので、パターン情報を復元するアプリケーションプログラムに組み込む形のプログラムとして構成する。或いは、単にアプリケーションプログラムに対して動作指示を行う制御コードとして構成し、実際の処理はアプリケーションプログラムが行う構成としても良い。

【 0 0 3 3 】

格納プログラム 4 3 は、例えば消費者にインターネットに接続するか否かを質問し、接続してよいという回答が得られればインターネットに接続してパターン情報 4 1 から復元したアンケート 4 2 に対する回答等を企業側のサーバに送信す

る。このとき格納プログラム43は、消費者が用いている端末がパソコン（デスクトップパソコン、ノートパソコン、ハンドヘルドPC等）であるか携帯電話やPHSであるか、情報を提示できるデジタル家電等であるか等その種類を調べ、その端末の種類に合わせたURLに接続する。また携帯電話であっても電気通信業者によってURLが異なることがあるのでこれらの種類も識別する。

【0034】

また消費者のコンピュータがインターネットに接続できない状況にあたり、消費者がインターネットに接続したくない場合等消費者が接続の許可を与えなかった場合、格納プログラム43はアンケートの回答結果を郵送する送り先（住所）やFAX番号等を表示する。

【0035】

また、まず消費者にインターネットに接続するかどうかを質問し、接続許可が得られたらインターネット上のパターン情報内に指定されているWebページに接続し、このWebページ上でアンケート内容を提示するようにしても良い。更にWebページ上でアンケートに回答できるようにしても良い。

【0036】

尚ここではインターネットを例にとったが、パソコン通信など他のネットワーク通信を利用しても良い。

次に第1の実施形態の情報伝達システムの全体の流れについて説明する。

【0037】

第1の実施形態は情報伝達システムを懸賞付きアンケートの実施に用いた場合の形態である。

図5は第1の実施形態の情報伝達システムでの手順についての説明図である。

【0038】

同図では、情報の提供者と配布者を1つにして示しているが、本実施形態では両者は同じとなる構成でも、異なる構成でもかまわない。また消費者側は、消費者側からの応答を情報配布者が集め、集計結果を情報提供者に通知する構成でもよい。尚この場合は消費者側は、応答を情報配布者に対して行うこととなる。

【0039】

企業側では、上述したように、まず文字ベースで作成したアンケート内容、アンケート内容を記載したWebページのURL、企業側が消費側に伝えたい情報、アンケートの結果等を返信する為のURL等の返信先についての情報、格納プログラム等をパターン情報51に変換する(①)。

【0040】

変換したパターン情報51を新聞や雑誌、チラシ広告、店頭パンフレットなどの配布物52に印刷し(②)、消費者に配布する(③)。

配布物を受け取った消費者は、スキャナ等の光学的読み取り機器や専用の読み取り機53を利用して、印刷されたパターン情報を読み取って復元する。復元したコードの中には格納プログラム54が格納されており、消費者に対しインターネット等のネットワークに接続するか否かを質問する。ここで、消費者の回答結果から、

1) ネットワークに接続するのであれば、端末の種類を調べ、コードの中に格納してあるURLのうち対応するURLが指すWebページへ接続する。Webページではアンケートを用意し、消費者が答えたアンケート結果を企業のデータベースへ格納する。

2) ネットワークに接続しない場合には、パターン情報に格納した可読情報の中からアンケート(Webページと同じ)を消費者へ提示する。またこのとき、消費者が答えたアンケート結果を葉書またはFAXで送ることを想定し、送り先の住所やFAX番号を同時に提示する。

【0041】

消費者はアンケートに答えた後、インターネット等のネットワーク通信、葉書やFAXまたはその他の方法でアンケート結果を企業側に送る(④)。企業側では、これらのアンケート結果を集計してデータベース55内に登録する。

【0042】

そして企業側は、データベースに登録されているアンケートに対する回答を送ってきた消費者の中から当選者を選出し、選出した消費者に賞品を送る(⑤)。尚この賞品としては品物の他に、画像や音楽、プログラム等のコンテンツでも良く、この場合これらのコンテンツを事前にアプリケーションプログラムやパター

ン情報内に格納しておき、当選者にはアプリケーションプログラムやパターン情報内から賞品のコンテンツを取り出すキーコードやパスワードを送信する構成としても良い。

【 0 0 4 3 】

以上のように、本実施形態では各情報をパターン情報として配布物に印刷することによって、

- ・消費者側はネットワークに接続できる状況であれば、URLを打ち込むなど接続の為の面倒な作業を省くことができる。また、ネットワークに接続できない状況であっても、葉書やFAXを用いる等消費者が置かれた環境に即した形で懸賞に応募することができる。

- ・企業側は、パターン情報内に格納してある格納プログラムが、自動的に消費者がどのような伝達方法を用いるかを判断して、状況に合わせた伝達の仕方を選択させることにより、ネットワークに接続できる／できない環境等、消費者の状況に合わせた形で懸賞に参加させることができる。

- ・配布する紙面上でアンケートを実施すると、配布物の紙面を大きく占有するが、パターン情報を利用することで、占有する紙面のスペースを少なくすることができる。また、新聞のように白黒印刷の紙面であっても、パターン情報の中にカラー画像や映像、音声などの情報を格納することが出来、消費者に伝えたい情報をよりアピールすることができる。よって従来の方法より安価な掲載料金で、より高い成果を得ることが出来る。

【 0 0 4 4 】

次に第2の実施形態の情報伝達システムについて説明する。

図6は第2の実施形態のイメージ図である。

この第2の実施形態の情報伝達システムは、スピードくじのように、パターン情報を復元した消費者が懸賞の当選を直ちに知ることが出来るようにしたシステムである。

【 0 0 4 5 】

この第2の実施形態では、第1の実施形態と同様企業側が宣伝等消費者に通知したい情報をパターン情報に変換し、これを配布物61に印刷して配る。そして

消費者がこの配布物 6 1 内のパターン情報 6 2 を光学的読取装置 6 3 でスキャンしてアンケート内容を復元すると、パターン情報 6 2 内の情報が提示されると共に直ちに懸賞の当選／落選が消費者に通知される。

【 0 0 4 6 】

図 7 は第 2 の実施形態の情報伝達システムでの手順の説明図である。

同図でも、情報の提供者と配布者を 1 つにして示しているが、本実施形態でも図 5 の第 1 の実施形態と同様、両者が同じとなる構成でも、異なる構成でもかまわない。

【 0 0 4 7 】

本システムでは、消費者に個人情報を事前に登録してもらい、この個人登録と引き換えに I D 番号を発行する。企業側ではこの個人情報を、発行した I D 番号と共に顧客データベース 7 1 にデータベース化して登録、管理する。また消費者側では、個人情報登録の際この I D 番号がパターン情報を復元するアプリケーションプログラムに設定される。

【 0 0 4 8 】

懸賞を行う際、企業側ではまず消費者の情報が蓄積された顧客データベース 7 1 から、当選者を選出し、I D 番号等その当選者を特定する情報を抽出し、これを懸賞の当たり外れを判断する為の情報とする (①)。

【 0 0 4 9 】

次に企業側では、Web ページの URL 7 2、企業側が消費側に伝えたい情報 7 3、アンケートの結果等を返信する為の URL 等の返信先についての情報、格納プログラム等第 1 の実施形態の場合と同様の情報に加え、顧客データベース 7 1 から選出した I D 番号等の懸賞の当たり外れを判断する為の情報をパターン情報 7 4 に変換する (②)。そしてこのパターン情報 7 4 を新聞や雑誌、チラシ広告、店頭に置いてあるパンフレットなどの配布物 7 5 に印刷し (③)、消費者に配布する (④)。

【 0 0 5 0 】

配布物 7 5 を手に入れた消費者は、スキャナ等の光学的読み取り機器や専用の読み取機 7 6 を利用して、印刷されたパターン情報 7 4 を読み取って復元する。

このときパターン情報の中に格納されていた格納プログラムが復元され、パターン情報を復元した消費者の I D 番号とパターン情報内の I D 番号を比較して、くじの当落を消費者に通知することによって、消費者は、インスタントくじのようにその場で当たり外れの確認ができる懸賞を享受できる。

【 0 0 5 1 】

パターン情報内に格納されていた格納プログラムは、パターン情報 7 4 内に格納されていた I D 番号等の懸賞の当たり外れを判断する為の情報と、パターン情報復元用のアプリケーションプログラムに設定されているこのパターン情報 7 4 の復元を行った消費者の I D 番号等の識別情報を比較する。そしてこの 2 つの情報が一致していなければ、パターン情報の中に格納されていた情報の中から、落選したという通知情報を用いて消費者に対して落選を提示する。また 2 つの情報が一致すれば、パターン情報の中に格納されていた情報の中から、当選通知の為の情報をを用いて当選したという情報を消費者に提示する。このとき当選を通知する為の情報として当選した賞品の画像データ等をパターン情報内に格納しておいて、当選通知と共に消費者に賞品の画像等を表示する構成としても良い。また、当選通知の為の情報の中に特定の番号（暗証番号）を格納しておき、当選通知と共にこの暗証番号を表示して、当選した消費者がこの暗証番号を企業側に通知することで当選者を特定する構成としてもよい。また懸賞の当たり外れを判断する為の情報として、ユーザ登録の際に設定される I D 番号を用いたが、消費者に配布するアプリケーションプログラムにシリアル番号等を事前に格納しておき、これを I D 番号の代わりとして用いても良い。

【 0 0 5 2 】

次に格納プログラムは、当選した消費者に対してインターネット等のネットワークに接続するか否かを質問する。ここで、消費者の回答結果から、

1) ネットワークに接続するのであれば、端末の種類を調べ、パターン情報の中に格納されている対応する U R L が指す W e b ページに接続する。当選した消費者は接続した W e b ページ上で当選の通知を行う（⑤）。

【 0 0 5 3 】

このとき企業側は、データベースに登録されている消費者の固有情報、I D 番

号を当選の確認に利用する。企業側が選出した I D 番号と、当選通知を行った消費者の I D 番号が一致していれば、そのとき初めてその消費者の当選を確定する。また当選通知を行う消費者にコンピュータ画面上表示された暗証番号を提示させ、企業側がこの暗証番号を確認することによって当選者を確定する構成でも良い。そして企業側は、当選が確定した消費者に賞品を配送する (⑥)。

2) ネットワークに接続しないのであれば、パターン情報に格納してあった情報の中から、企業側に当選を通知する方法を提示する。例えば、葉書や F A X を用いて企業側に通知を行うよう送り先の住所や F A X 番号を通知し、これらの方法によって連絡をとって消費者は企業側に当選通知を行う (⑤)。

【 0 0 5 4 】

当選通知を受けた企業は、通知を送った消費者が最初に選出した消費者か否か判定を行う。消費者から送られてきた通知情報と、企業側が保持しているデータベース、もしくは暗証番号を比較する。通知を送った消費者が最初に選出した消費者と一致すれば当選を確定する。そして企業側は、当選が確定した消費者に賞品を配送する (⑥)。尚この賞品としては第 1 の実施形態と同様品物の他に、画像や音楽、プログラム等のコンテンツでも良く、当選者にはアプリケーションプログラムやパターン情報内から賞品のコンテンツを取り出すキーコードやパスワードを送信する構成としても良い。

【 0 0 5 5 】

またパターン情報を復元した消費者が未だ個人情報登録を行っておらず、I D 番号を持っていなかった場合、格納プログラムは消費者に対してインターネット等のネットワークに接続するか否かを質問する。その結果、

1) ネットワークに接続するのであれば、端末の種類を調べ、パターン情報の中に格納されている U R L のうち対応する U R L が指すサイトに接続する。そしてそのサイトから I D 番号を自動的に取得する (⑦)。

2) ネットワークに接続しないのであれば、パターン情報に格納してあった情報から I D 番号を獲得するための方法を消費者のコンピュータ画面上に提示する。例えば、ハガキ等の郵便の送り先や F A X 番号を画面上に表示し、これらの方法によって連絡をとり、後日 I D 番号を送付する (⑦)。

【 0 0 5 6 】

このように図 7 に示したようなシステム構成を構築することで、消費者はその場で当選可否が分かる一種のインスタントくじのような楽しみを享受することができる。

【 0 0 5 7 】

また消費者は、当選後に当選の通知を行うに際して、パターン情報に含まれている格納プログラムによりネットワーク接続可能かどうか等消費者の置かれている環境を自動的に判断し、インターネット等のネットワークに接続できる状況であれば当選通知などの作業を簡略化し、消費者の面倒な作業を省くことができる。またネットワークに接続できない状況にあった場合には、葉書や F A X 等自己の置かれている環境に即した他の方法による当選通知を行うことができる。

【 0 0 5 8 】

また、企業側はインスタントくじのような楽しみを消費者に提供することで、新規の消費者を獲得することができる。また、パターン情報の中に広告を含めておけば、宣伝効果を期待出来、また他社の宣伝や通知をパターン情報に含めて対価を得る事業を行うことも出来る。

【 0 0 5 9 】

図 8 は、図 7 に示す第 2 の実施形態における消費者側から企業側への情報の伝達を示す図である。

配布物に印刷されたパターン情報 8 1 をスキャンして復元すると、パターン情報 8 1 内に格納されていた格納プログラム 8 2 は、懸賞の当選確認の為、その消費者の I D 番号を読み出そうとする。

【 0 0 6 0 】

その結果、その消費者がユーザ登録済みで I D 番号を持っていれば、その I D 番号とパターン情報 8 1 内の I D 番号とを比較して、当選確認を行う。そして格納プログラム 8 2 は、懸賞の当落を消費者に通知すると共に当選していた場合、インターネットへの接続を行うかどうかを消費者側に確認する。その結果、インターネットへの接続許可が得られれば、W e b ページ上で当選通知を行う。またインターネットに接続できない環境にあれば、従来通り葉書や F A X などを用い

て企業側へ当選通知を行う。

【 0 0 6 1 】

また懸賞の当選確認の際、ID 番号が読み出せない時、格納プログラム 8 2 はこの消費者にはまだ ID 番号が与えられていないと判断し、消費者にインターネットへの接続を行うかどうか確認を行う。その結果接続許可が得られれば、消費者に Web 上でユーザ登録を行わせる。この場合ユーザ登録はすぐに行われ、消費者は ID 番号をその場で入手できる。また接続許可が得られない場合、格納プログラム 8 2 は葉書や FAX 等他の方法によるユーザ登録の仕方を消費者に指示する。この場合、後日登録した ID 番号が消費者に送付される。

【 0 0 6 2 】

図 9 は、本システムで受ける企業側と消費者側、及びメーカーの利益を示す図である。

本システムにより、企業側は消費者から消費者の個人情報等のユーザ情報、アンケート結果等の情報、配布物の情報等を収集することが出来、様々な顧客情報を確保できるというメリットがある。

【 0 0 6 3 】

また消費者側は、懸賞に当たれば企業側から懸賞の娯楽や賞品を取得出来、また当たらなかったとしても当たるかどうかをという娯楽を享受することが出来る。またパターン情報内の格納プログラムが、消費者の状況に合わせた伝達方法を選択させて作業の手助けを行うので、従来消費者にとって面倒な作業であったユーザ登録や当選通知などの作業を簡略化した処理により行うことが出来る。

【 0 0 6 4 】

更に本システムに参加する為、消費者はメーカーは汎用スキャナや専用のパターン情報の専用読み取り機を購入するので、メーカーは製品の拡販を行うことが出来るというメリットがある。

【 0 0 6 5 】

図 1 0 は、第 1 の実施形態の情報伝達システムで行われる処理を示すフローチャートである。

同図の処理フロー①、②、③は第 1 の実施形態のシステムの流れ図を順に示し

た処理フローであり、処理フロー①は企業側でアンケート内容を格納した配布物を配布するまでの処理フロー、処理フロー②は配布物を受け取った消費者がアンケートに回答し、アンケート結果を企業に通知するまでの処理フロー、処理フロー③は通知を受け取った企業側が、アンケートに答えた消費者の中から当選者を確定し、賞品を配送するまでの処理を示す。以下処理フローから順に説明する。

【 0 0 6 6 】

処理フロー①：

処理フロー①は、企業側においてアンケートを開始する際に、アンケート内容等企業側が消費者側に伝えたい情報をパターン情報に変換し消費者に配布するまでの処理フローである。

【 0 0 6 7 】

企業側ではまずステップ S 1 0 1 として、アンケート内容等企業側が消費者に提示する情報、URL など通知先情報、格納プログラムなどパターン情報に変換する情報を選択する。またこのとき、パターン情報を印刷する各配布物毎に図 3 に示した BOOK ID を定義しこれをデータベース 1 0 2 に登録しておく。そしてステップ S 1 0 2 としてステップ S 1 1 1 で選択した情報や BOOK ID をパターン情報に変換する。

【 0 0 6 8 】

次に企業側ではステップ S 1 0 3 として、ステップ S 1 0 2 で変換したパターン情報を含む広告を消費者に配布する配布物に印刷し、ステップ S 1 0 4 として、この配布物を消費者に配布して処理フロー①の処理を終了する。

【 0 0 6 9 】

処理フロー②：

処理フロー②は、消費者側でパターン情報を復元するアプリケーションプログラム及びパターン情報内の格納プログラムが行う処理を示すフローチャートである。このパターン情報を復元するアプリケーションプログラムは予め消費者に配布しておく。

【 0 0 7 0 】

パターン情報が印刷された配布物を手に入れた消費者は、まずイメージスキャ

ナ等の光学的読み取り機器や専用の読み取り機を用いてコードを読み取る（ステップ S 4 0 1）。

【 0 0 7 1 】

アプリケーションプログラムは、ステップ S 2 0 1 として、ステップ S 4 0 1 で読み取ったコードを復元する。パターン情報から復元したデータの中には、企業側が消費者に提示する情報やプログラムが格納されており、ステップ S 2 0 2 としてアプリケーションプログラムは、パターン情報内の格納プログラムを格納されている順番で実行していく。

【 0 0 7 2 】

ステップ S 2 0 3 において、アプリケーションプログラム若しくは格納プログラムは消費者のコンピュータ画面上にアンケートを提示する。消費者が提示されたアンケートに答えると、この内容はアンケート回答通知として後述する企業側への通知処理によって企業側に通知され、企業側ではデータベース 1 0 1 に蓄積される。

処理フロー③：

処理フロー③は、消費者側からのアンケート回答通知を受け取った企業側が、アンケートに答えた消費者の中から当選者を確定し、賞品を配送するまでの処理を示すフローチャートである。

【 0 0 7 3 】

ステップ S 3 0 1 において、主催者側のデータベース 1 0 1 に蓄積されているアンケートに答えた消費者の情報の中から、乱数を用いるなどして当選者を選出する。

【 0 0 7 4 】

次にステップ S 3 0 2 において、該当当選者に賞品を配送し、処理を終了する。その後データベース 1 0 1 に蓄積されたアンケート結果をデータベース 1 0 2 内に記憶されている BOOK ID を利用して集計する。またアンケート結果と同時に送られてきた消費者の個人情報を 2 次利用する。更にデータベース 1 0 2 内に記録されている BOOK ID を用いてアンケートを送ってきた消費者の傾向を調べ各配布物の宣伝効果を分析する。

【 0 0 7 5 】

図 1 1 は、第 2 の実施形態の情報伝達システムで行われる処理を示すフローチャートである。

同図の処理フロー①、②、③は第 2 の実施形態のシステムの流れ図を順に示した処理フローであり、処理フロー①は企業側がパターン情報を作成し消費者に配布するまでの処理フロー、処理フロー②は配布物を受け取った消費者が当選の可否を調べ、当選していれば企業に当選した旨を通知するまでの処理フロー、処理フロー③は通知した消費者と企業側が最初に選出した消費者が一致しているか否かを判断し、一致していれば消費者の当選を確定し、賞品を配送するまでの処理フローを示す。

処理フロー①：

処理フロー①は、企業側においてパターン情報を作成し消費者に配布するまでの処理を示すフローチャートである。

【 0 0 7 6 】

企業側ではまずステップ S 5 0 1 として、企業側が消費者に提示する情報、URL など通知先情報、格納プログラムなどパターン情報に変換する情報を選択する。また乱数を用いるなどの方法によって、まず顧客データベース 1 1 1 内に個人情報登録されている消費者の中から懸賞当選者を決定しておき、ID 番号等当選した消費者を特定する情報を顧客データベース 1 1 1 から抽出する。そしてステップ S 5 0 2 として、ステップ S 5 0 1 で選択したこれらの情報と当選した消費者を特定する情報をパターン情報に変換する。

【 0 0 7 7 】

次に企業側ではステップ S 5 0 3 として、ステップ S 5 0 2 で変換したパターン情報を含む広告を消費者に配布する配布物に印刷し、ステップ S 5 0 4 として、この配布物を消費者に配布して処理フロー①の処理を終了する。

処理フロー②：

処理フロー②は配布物を受け取った消費者側において、当選の可否を調べ、当選していれば企業に当選した旨を通知するまでの処理フローで、消費者に事前に配布しておいたパターン情報を復元するアプリケーションプログラム及びパター

ン情報内の格納プログラムが行う。

【 0 0 7 8 】

パターン情報が印刷された配布物を受け取った消費者は、まずイメージスキャナ等の光学的読み取り機器や専用の読み取り機を用いて印刷されたパターン情報を読み取り、これをアプリケーションプログラムが復元する（ステップ S 6 0 1）。

【 0 0 7 9 】

そしてステップ S 6 0 2 としてこのアプリケーションは、パターン情報から復元した格納プログラムや他の情報を、格納されている順に実行処理していく。これにより、企業側が消費者に提示する文字、音声、画像等の情報が消費者に提示される。

【 0 0 8 0 】

次にアプリケーションプログラム若しくは格納プログラムは、ステップ S 6 0 3 として、アプリケーションプログラムに設定されているパターン情報を復元した消費者の I D 番号を参照して、パターン情報内に含まれていたステップ S 6 0 1 で企業側が選出した I D 番号とを比較して懸賞の当落を判定する（ステップ S 6 0 3）。その結果両者が一致すれば（ステップ S 6 0 3, Y E S）、ステップ S 6 0 4 として、懸賞に当選したことを消費者に通知し、また後述する企業側への通知処理によって当選通知を企業側に対して行った後処理を終了する。尚このとき当選の通知と共に暗証番号を消費者に提示し、消費者がこの暗証番号を企業側に通知することで、企業側は当選の確定を行う構成としても良い。またステップ S 6 0 3 において、2つの I D 番号が一致しなかった場合は（ステップ S 6 0 3, N O）、懸賞に落選した旨を消費者に提示した後処理を終了する。

【 0 0 8 1 】

またステップ S 6 0 3 で、I D 番号がアプリケーションプログラムに設定されていなければ、この消費者はまだユーザ登録を行っておらず、I D 番号が設定されていないとみなし、I D 番号獲得方法を提示する。そして消費者のコンピュータがネットワークに接続可能であれば、パターン情報内に格納されていた U R L 等の接続先を含む I D 獲得情報を用いて接続してネットワーク経由で自動的に I

D番号を設定し、接続不可能な状態であればパターン情報内に含まれていた他の方法による獲得情報を提示する。

処理フロー③：

処理フロー③は、消費者から当選通知を受けた企業側が、当選差の確認を行い、賞品を配送するまでの処理を示すフローチャートである。

【0082】

消費者から当選通知を受けると企業側では、ステップS701として、通知してきた消費者と企業側がステップS501で最初に選出した消費者とが一致しているか否かをID番号等の情報を比較して調べる。

【0083】

企業側では、当選通知と共に消費者が通知してきた暗証番号、ID番号、消費者の氏名などの通知情報と、最初に企業が当選者として選出した消費者のデータベース111内の情報とを比較し、ステップS702として、両者が一致すれば通知してきた消費者を当選者として確定し（ステップS702、YES）、ステップS704としてその当選者に賞品を発送して処理を終了する。

【0084】

またステップS703で当選が確定できなかった場合や、予定していた当選者数より当選通知者の数が少なく当選者が少なかった場合は、ステップS703として該当選者無しとする。この場合賞品を上積みして次回に回しても良い。

【0085】

この図11の各処理フローによって、消費者および懸賞主催者側の手間を省き、迅速かつ簡略化した懸賞を実現することができる。

図12は、図10のステップS203や図11のステップS604の消費者側から企業側への情報の通知処理を示すフローチャートである。

【0086】

図10の第1の実施形態においてアンケートの回答結果を消費者側から企業側に通知する場合や、図11の第2の実施形態において当選通知を行う場合、アプリケーションプログラムは、ステップS801としてパターン情報内に格納されていた、通知処理用の格納プログラムを実行する。

【 0 0 8 7 】

この格納プログラムは、ステップ S 8 0 2 として消費者に対してインターネット等のネットワークに接続するかどうかを尋ねる。

その結果接続許可が得られれば（ステップ S 8 0 2、YES）、ステップ S 8 0 3 として対応するサイトに接続し、Web ページを表示する。そしてステップ S 8 0 4 としてネットワークによってアンケートの回答結果や当選通知の情報等を企業側に送信した後、処理を終了する。また消費者から接続許可が得られなかった場合（ステップ S 8 0 2、NO）は、ステップ S 8 0 5 として郵便葉書や F A X 等のネットワーク以外の方法による通知に必要な情報をコンピュータ画面上に表示する。これを見て消費者は、ステップ S 8 0 6 として郵便や F A X 等ステップ S 8 0 5 で通知された方法によって企業側に通知を行った後処理を終了する。尚このステップ S 8 0 4、S 8 0 5 において、コンピュータ上から消費者が必要な情報を入力すると、そのまま消費者が投函したり F A X 送信したりすればよい完成されたフォームの葉書や用紙が自動的に印刷出力されるようにしても良い。

【 0 0 8 8 】

図 1 3 は、本実施形態における情報伝達システムで用いられる消費者側のコンピュータや企業側サーバの構成を示す情報処理システム環境図である。

この情報処理システムは、図 1 3 の様に CPU 1 3 1、主記憶装置 1 3 2、ハードディスク装置 1 3 3、ディスプレイ、キーボード等の入出力装置（I/O）1 3 4、モデム等のネットワーク接続装置 1 3 5 及びディスク、磁気テープなどの可搬記憶媒体から記憶内容を読み出す媒体読取り装置 1 3 6 を有し、これらが互いにバス 1 3 8 により接続される構成を備えている。

【 0 0 8 9 】

図 1 3 の情報処理システムでは、媒体読取り装置 1 3 6 により磁気テープ、フロッピーディスク、CD-ROM、MO 等の記憶媒体 1 3 7 に記憶されているプログラム、データを読み出し、これを主記憶装置 1 3 2 またはハードディスク 1 3 3 にダウンロードする。そして本実施形態による各処理は、CPU 1 3 1 がこのプログラムやデータを実行することにより、ソフトウェア的に実現される。

【0090】

また、図13のコンピュータシステムでは、フロッピーディスク等の記憶媒体137を用いてアプリケーションソフトの交換が行われる場合がある。よって、本発明は、情報伝達システムや伝達方法に限らず、コンピュータにより使用されたときに、上述した本発明の実施形態の機能をコンピュータに行わせるためのコンピュータ読み出し可能な記憶媒体137として構成することもできる。

【0091】

この場合、「記憶媒体」には、例えば図14に示されるように、CD-ROM、フロッピーディスク（あるいはMO、DVD、リムーバブルハードディスク等であってもよい）等の媒体駆動装置147に脱着可能な可搬記憶媒体146や、ネットワーク回線143経由で送信される外部の装置（サーバ等）内の記憶手段（データベース等）142、あるいは情報処理装置141の本体144内のメモリ（RAM又はハードディスク等）145等が含まれる。可搬記憶媒体146や記憶手段（データベース等）142に記憶されているプログラムは、本体144内のメモリ（RAM又はハードディスク等）145にロードされて、実行される。

【0092】

（付記1） 情報提供者側が情報配布者側が配布する配布物を介して消費者側に情報を伝達し、前記情報提供者側と前記消費者側との間の双方向の情報交換を行う情報伝達システムであって、

前記情報提供者側若しくは前記配布者側は、

前記情報提供者側から前記消費者側に伝達する伝達情報をデジタルデータを記録するパターン情報に変換する変換手段と、
を備え、

前記消費者側は、

前記パターン情報を復元する復元手段と、

前記復元手段が前記パターン情報から復元した伝達情報に基づいて、前記情報提供者側若しくは前記配布者側に前記伝達情報に対する応答情報を返信する返信手段と

を備えることを特徴とする情報伝達システム。

(付記 2) 消費者側に伝達情報を伝達し、該伝達情報に対する応答を受け取る情報伝達システムのサーバであって、

前記消費者側に伝達する前記伝達情報をパターン情報に変換する変換手段と、
前記消費者側から返信された情報を蓄積する蓄積手段と
を備えることを特徴とするサーバ。

(付記 3) 情報提供者側と消費者側との間の双方向の情報交換を情報伝達システムで該消費者側によって用いられるコンピュータであって

配布物に印刷されたパターン情報を復元する復元手段と、
前記復元手段が前記パターン情報から復元した伝達情報に基づいて、前記情報提供者側に応答情報を返信する返信手段と
を備えることを特徴とするコンピュータ。

(付記 4) 情報提供者側が情報配布者側が配布する配布物を介して消費者側に情報を伝達し、前記情報提供者側と前記消費者側との間の双方向の情報交換を行う情報伝達方法であって、

前記情報提供者側若しくは前記情報配布者側は、前記情報提供者側から前記消費者側に伝達する伝達情報をデジタルデータを記録するパターン情報に変換し、
前記消費者側は、配布物に印刷された前記パターン情報を復元し、前記パターン情報から復元した伝達情報に基づいて、前記情報提供者側若しくは前記情報配布者側に前記伝達情報に対する応答情報を返信することを特徴とする情報伝達方法。

(付記 5) 前記伝達情報は、前記情報提供者側が前記消費者側に提供する提供情報、前記応答情報を返信する為の返信情報及び前記消費者側の置かれている環境を判断する格納プログラムのうち少なくとも 1 つを含むことを特徴とする付記 4 に記載の情報伝達方法。

(付記 6) 前記提供情報は、文字情報、静止画情報、動画情報、音声情報の少なくとも 1 つを含むマルチメディア情報であることを特徴とする付記 5 に記載の情報伝達方法。

(付記 7) 前記格納プログラムは、前記消費者側がネットワークに接続可能で

あればネットワークに接続して前記応答情報を返信し、ネットワークに接続可能でなければ該ネットワークに接続しない方法による返信に必要な情報を提示し、或いは前記消費者側の端末を識別することを特徴とする付記 5 に記載の情報伝達方法。

(付記 8) 前記情報提供者側は、前記配布物に対し該配布物の種類を識別する配布物識別子を設定し、該配布物識別子を前記伝達情報と共にパターン情報に変換することを特徴とする付記 4 に記載の情報伝達方法。

(付記 9) 前記情報提供者側は、前記消費者側が返信した前記応答情報を蓄積することを特徴とする付記 4 に記載の情報伝達方法。

(付記 10) 前記伝達情報は、前記消費者側に対するアンケート情報を含み、前記返信情報は、前記アンケート情報に対する返答結果を含むことを特徴とする付記 4 に記載の情報伝達方法。

(付記 11) 前記情報提供者側は、前記アンケート情報の種類毎に識別子を付加し、前記識別子を前記伝達情報と共にパターン情報に変換することを特徴とする付記 10 に記載の情報伝達方法。

(付記 12) 前記返信情報は、前記返答結果と共に前記識別子を含み、前記情報提供者側は、該識別子を用いて前記返答結果の集計を行うことを特徴とする付記 11 に記載の情報伝達方法。

(付記 13) 前記伝達情報は、懸賞の当落を判断する為の情報、前記懸賞の当落を判断する為の情報及び前記消費者側に設定されている識別情報から懸賞の当落を判断する当落判断プログラムを含むことを特徴とする付記 4 に記載の情報伝達方法。

(付記 14) 前記当落判断プログラムは、前記当落の判断を行うと直ちに判断結果を前記消費者側に通知することを特徴とする付記 13 に記載の情報伝達方法。

(付記 15) 前記当落判断プログラムは、前記消費者側に前記識別情報が設定されていない時、前記消費者側がネットワークに接続可能であればネットワークを介して該識別情報の設定を行い、ネットワークに接続可能でなければネットワークに接続しない方法によって前記識別情報の設定するのに必要な情報を提示す

ることを特徴とする付記 1 3 に記載の情報伝達方法。

(付記 1 6) 配布物に印刷されたデジタルデータを記録するパターン情報を復元し、

前記パターン情報から復元した伝達情報に基づいて、前記情報提供者側に応答情報を返信することを特徴とする情報伝達方法。

(付記 1 7) コンピュータによって使用された時、

消費者側に伝達する伝達情報をデジタルデータを記録するパターン情報に変換し、

前記消費者側から返信された前記伝達情報に対する応答をメモリに記憶、蓄積することを前記コンピュータに行わせるためのプログラムを記憶した前記コンピュータが読み出し可能な記憶媒体。

(付記 1 8) コンピュータによって使用された時、

配布物に印刷されたデジタルデータを記録するパターン情報を復元し、

前記パターン情報から復元した情報提供者側からの伝達情報に基づいて、該情報提供者側に応答情報を返信することを前記コンピュータに行わせるためのプログラムを記憶した前記コンピュータが読み出し可能な記憶媒体。

(付記 1 9) 前記パターン情報から復元した前記伝達情報が格納プログラムを含む時、該格納プログラムを前記プログラムに組み込むことを特徴とする付記 1 8 に記載の前記コンピュータが読み出し可能な記憶媒体。

(付記 2 0) デジタルデータを記録するパターン情報が印刷されている配布物であって、

情報提供者側が消費者側に提供する提供情報、及び該提供情報に対する応答情報を返信する為の返信情報及び前記消費者側の置かれている環境を判断する格納プログラムの内の少なくとも 1 つを含むことを特徴とする配布物。

(付記 2 1) 消費者側に伝達する伝達情報をデジタルデータを記録するパターン情報に変換し、

前記消費者側から返信された前記伝達情報に対する応答をメモリに記憶、蓄積するプログラム。

(付記 2 2) 配布物に印刷されたデジタルデータを記録するパターン情報を復

元し、

前記パターン情報から復元した情報提供者側からの伝達情報に基づいて、該情報提供者側に応答情報を返信するプログラム。

【 0 0 9 3 】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、企業側から消費者側への及び消費者から企業側への様々な情報の伝達を円滑に行うことが出来る。またその際、企業側、消費者側双方の作業を手間を軽減することが出来る。

【 0 0 9 4 】

また企業側は、従来より効果が高く且つ安価に消費者側に情報を伝達することが出来る。

更に、インスタントくじのように、その場ですぐに当選落選の確認が可能で、消費者や主催者の手間のかからない懸賞方法を提供することができる。

【 0 0 9 5 】

また消費者がネットワークを使用可能ならばネットワークで、使用できないのならば他の方法によって企業側への情報の伝達を行うように、消費者側の置かれている環境に即した情報伝達の為の支援をすることが出来る。

【 0 0 9 6 】

更にパターン情報を利用することで、アンケートをそのまま紙面に印刷していた従来の方法に比較して、占有する紙面のスペースを少なくすることができる。

また、新聞のように白黒印刷の紙面であっても、パターン情報の中にカラー画像や映像、音声などの情報を格納でき、消費者に伝えたい情報をよりアピールすることができる。

【 0 0 9 7 】

更に本発明により、企業側では従来より効果の高い顧客情報の収集を実現できる。

また消費者にとって、懸賞を応募する際に必要となる作業の簡略化でき、また新しい懸賞方法による楽しみを享受できる。

【 0 0 9 8 】

更にメーカーの、製品の拡販に大きく寄与することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態の基本原理の説明図である。

【図 2】

パターン情報の例を示す図である。

【図 3】

BOOK IDの説明図である。

【図 4】

本実施形態での消費者側から企業側への情報の伝達についての説明図である。

【図 5】

第 1 の実施形態の手順についての説明図である。

【図 6】

第 2 の実施形態の情報伝達システムのイメージ図である。

【図 7】

第 2 の実施形態の情報伝達システムの手順の説明図である。

【図 8】

第 2 の実施形態における消費者側から企業側への情報の伝達を示す図である。

【図 9】

本システムで受ける企業側と消費者側、及びメーカーの利益を示す図である。

【図 1 0】

第 1 の実施形態の情報伝達システムで行われる処理を示すフローチャートである。

【図 1 1】

第 2 の実施形態の情報伝達システムで行われる処理を示すフローチャートである。

【図 1 2】

消費者側から企業側への情報の通知処理を示すフローチャートである。

【図 1 3】

本システムが用いられる情報処理システムの環境図である。

【図 1 4】

記憶媒体の例を示す図である。

【符号の説明】

3 1, 5 2, 6 1 配布物

3 2 BOOK ID

4 1, 5 1, 6 2, 8 1 パターン情報

4 2 アンケート

4 3, 5 4, 8 2 格納プログラム

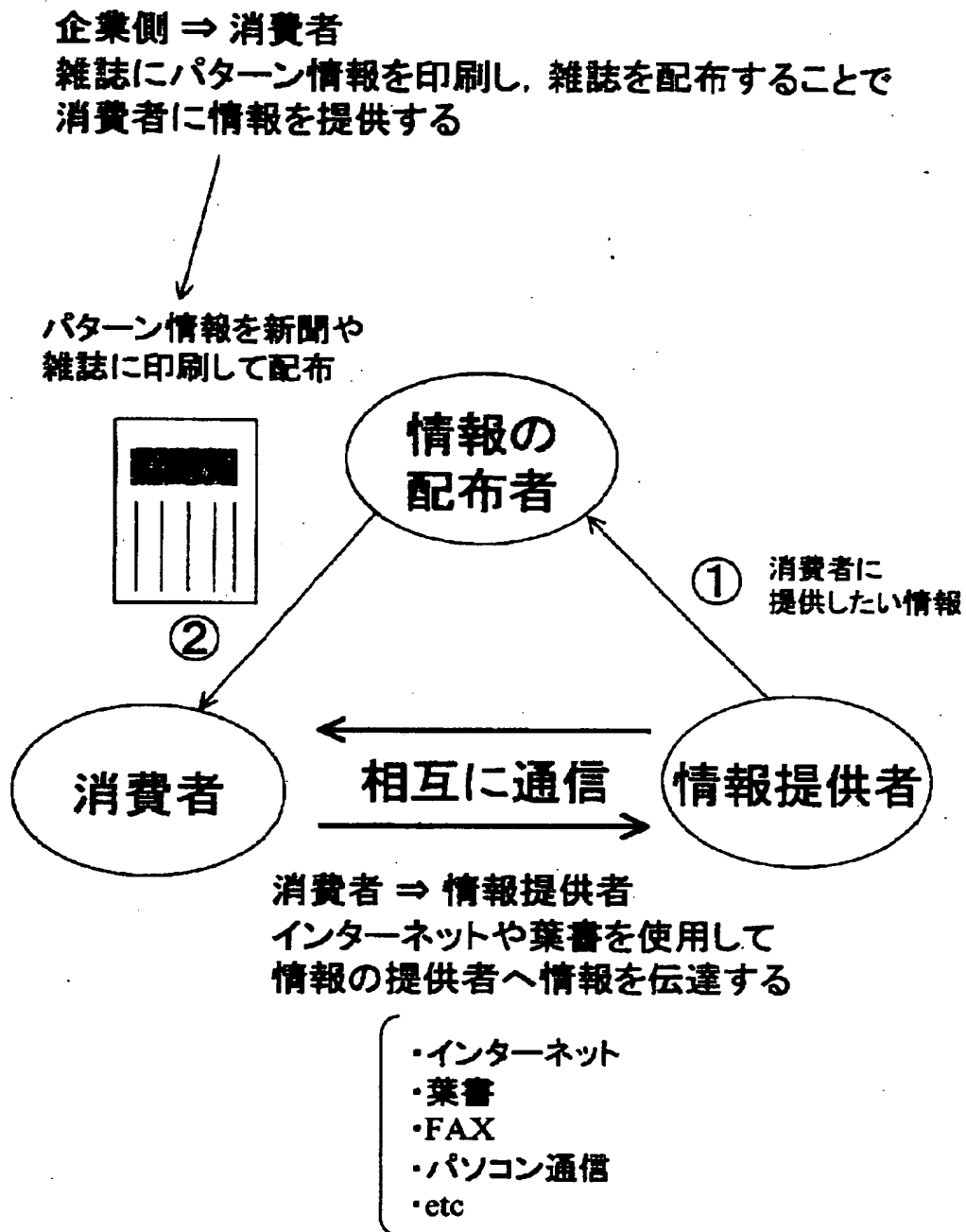
5 3, 6 3 光学的読取装置

7 1, 1 0 1, 1 0 2, 1 1 1 データベース

【書類名】 図面

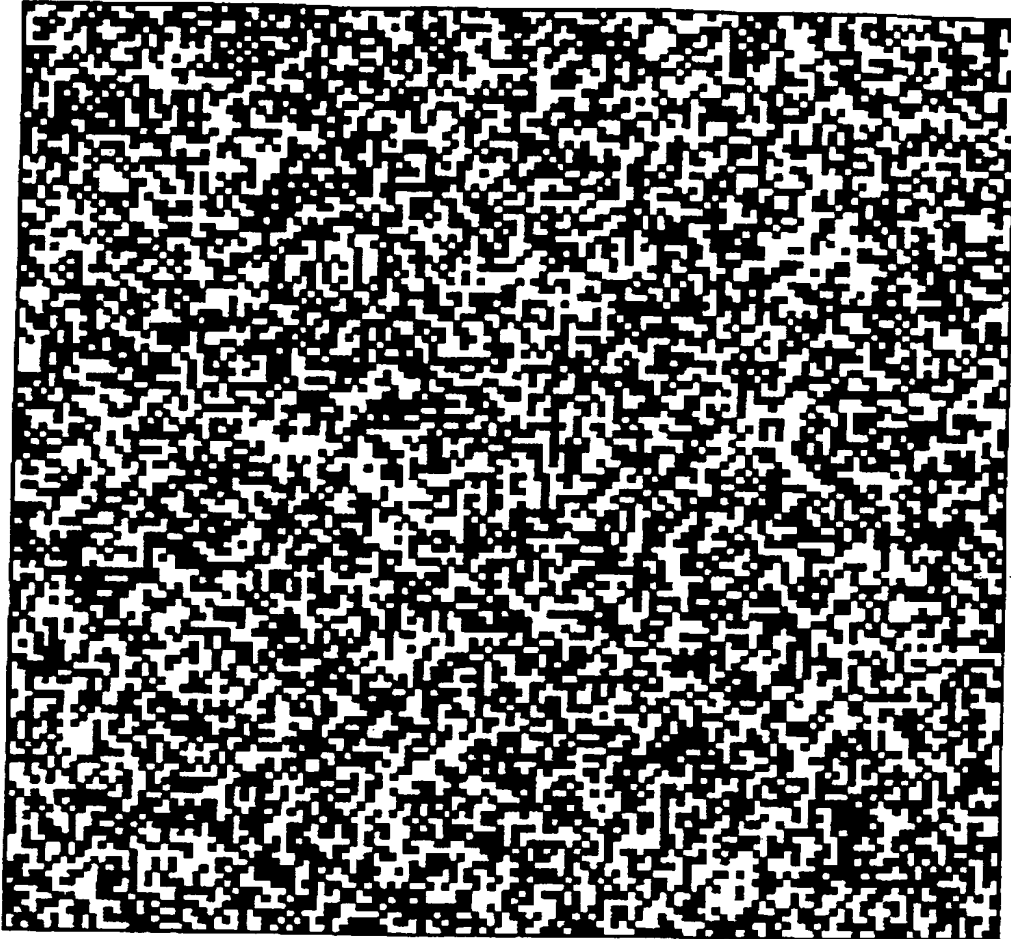
【図 1】

本実施形態の基本原理の説明図



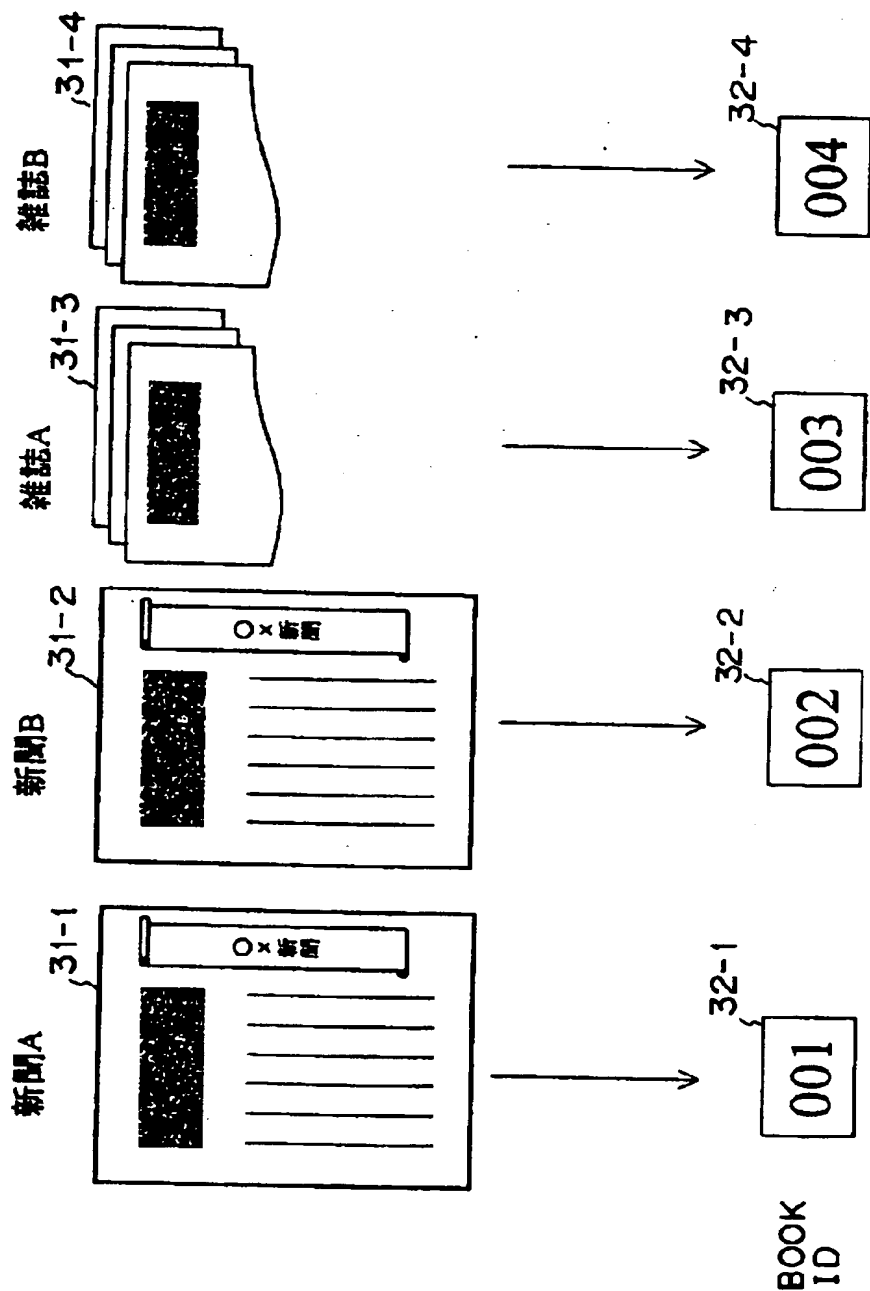
【図 2】

パターン情報の例を示す図



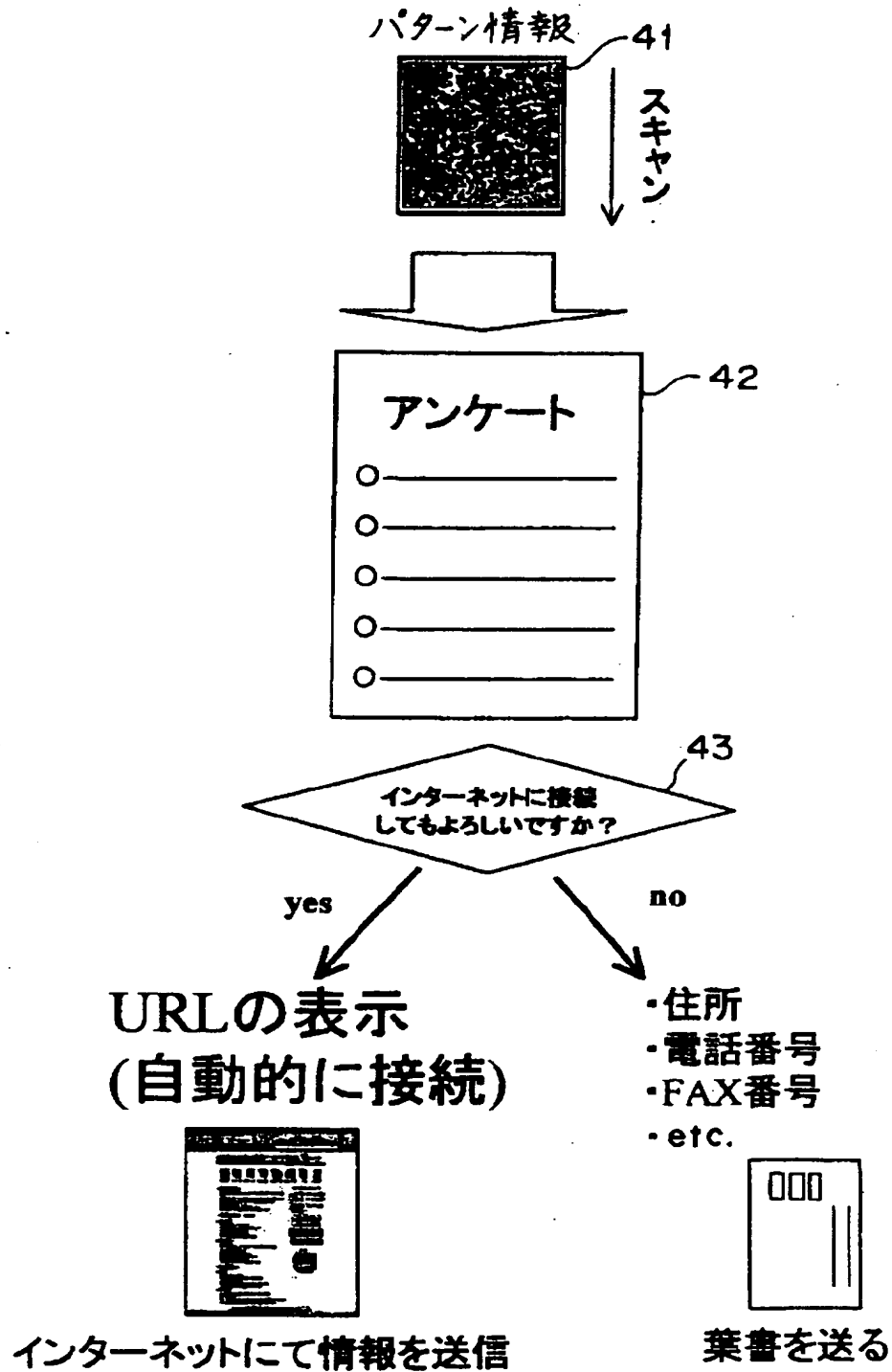
【図3】

BOOK IDの説明図



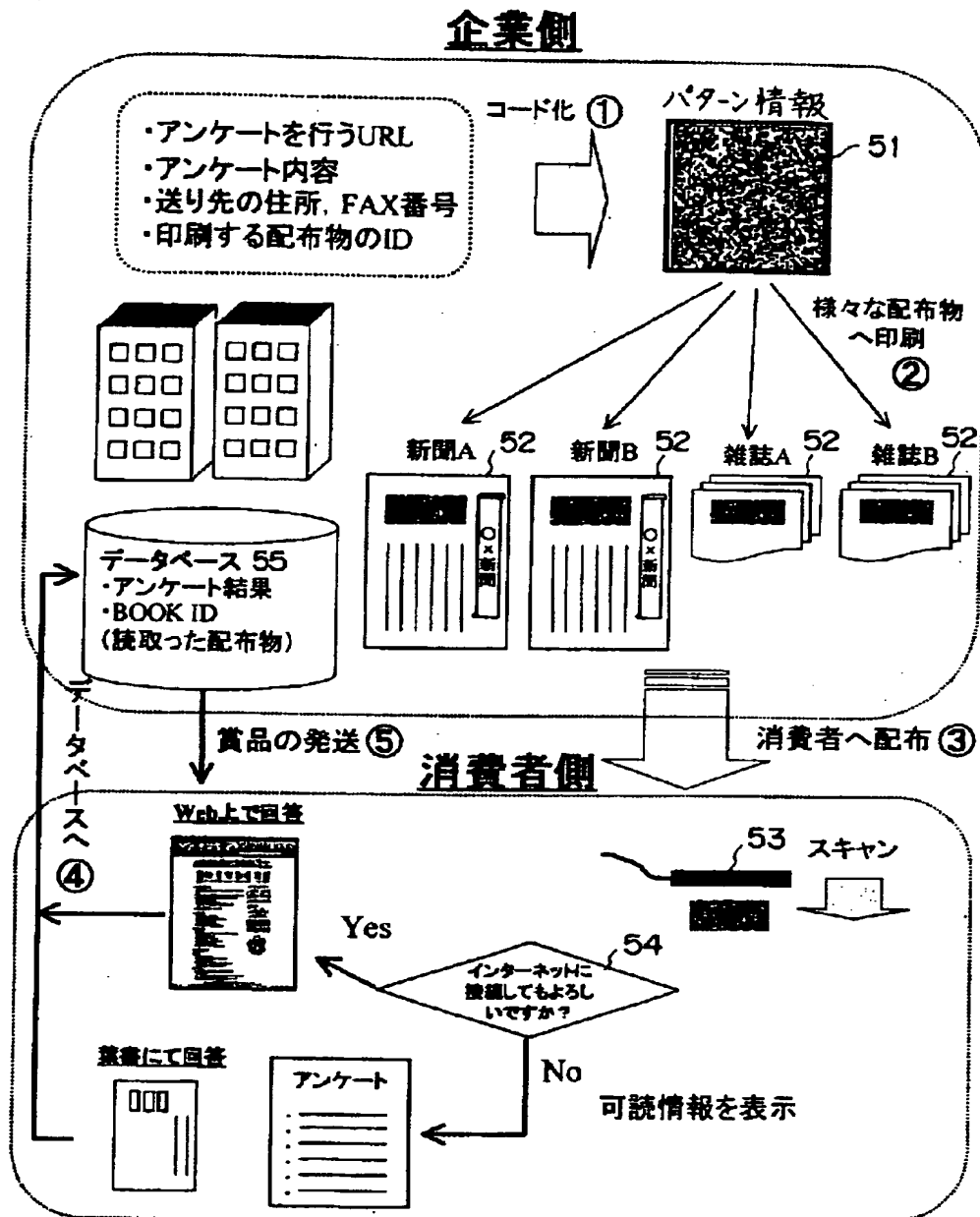
【図4】

本実施形態での消費者側から企業側への
情報の伝達についての説明図



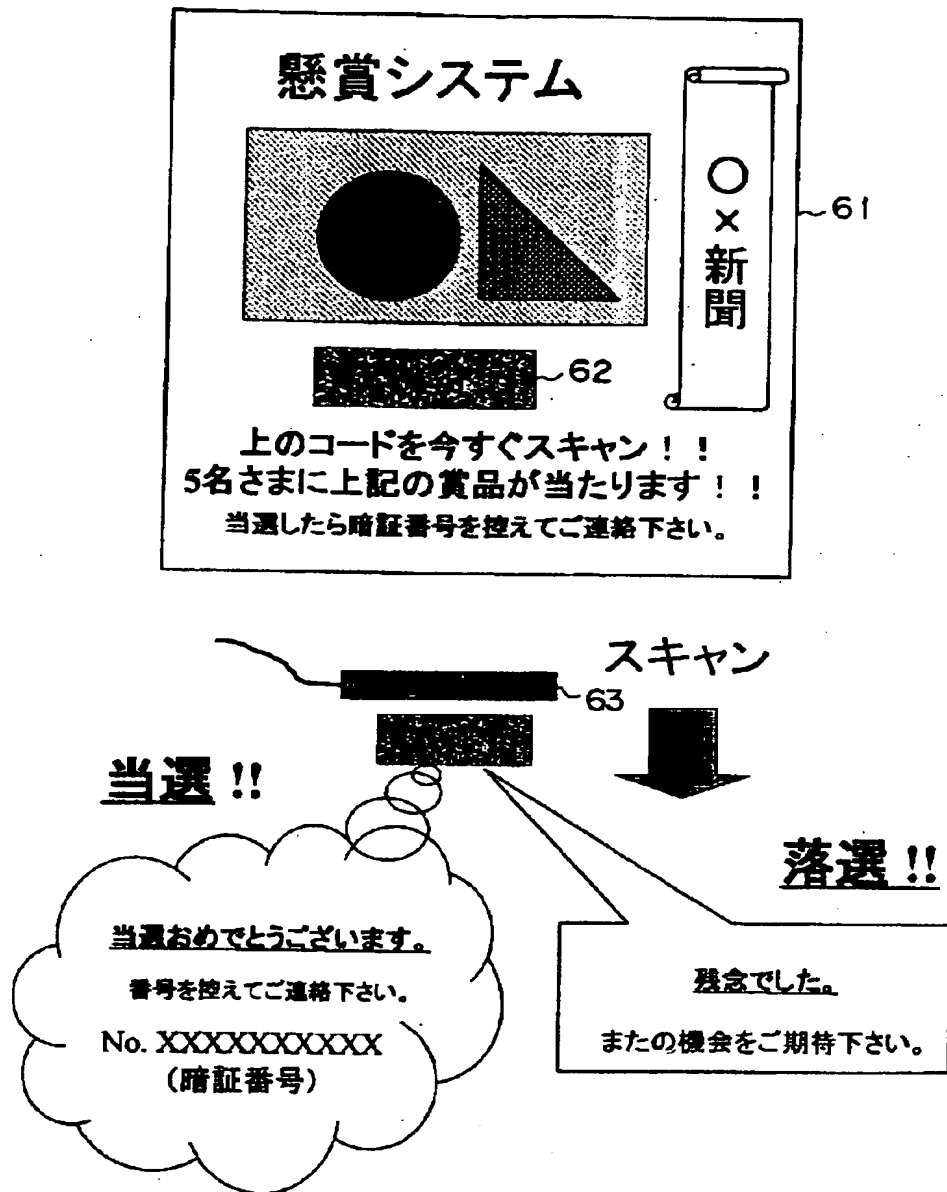
【図 5】

第1の実施形態の情報伝達システムの説明図



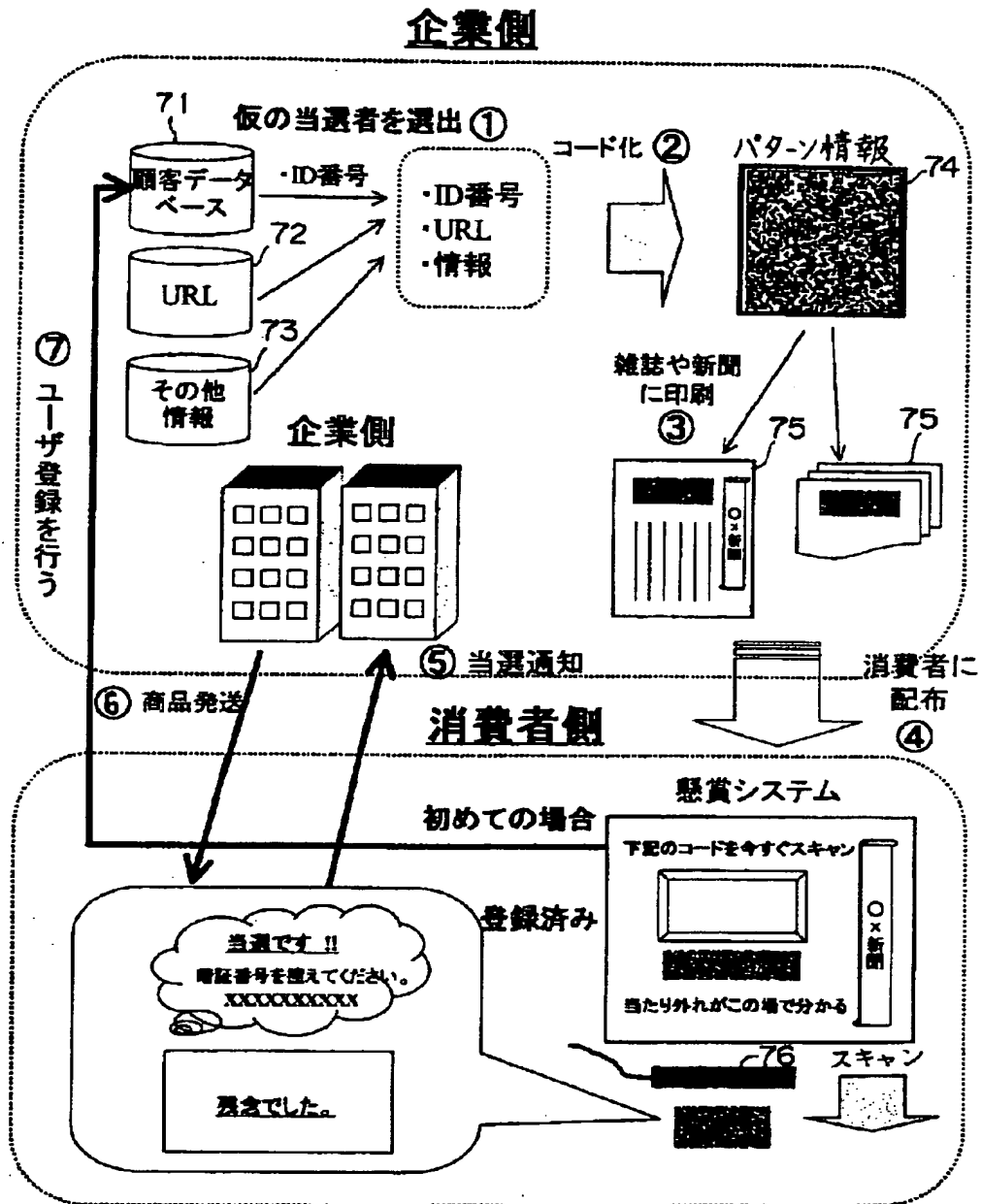
【図6】

第2の実施形態の情報伝達システムのイメージ図



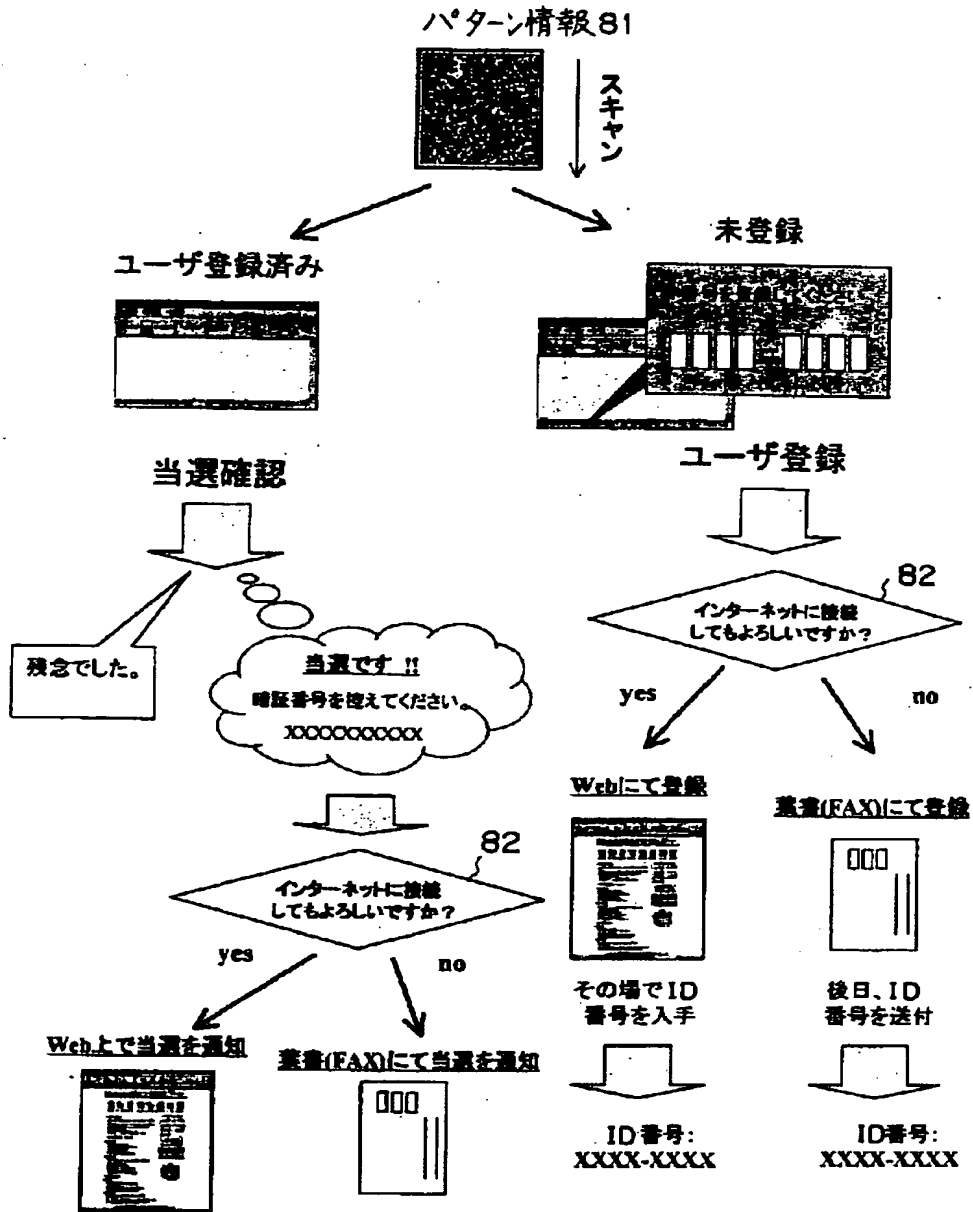
【図 7】

第2の実施形態の情報伝達システムの説明図



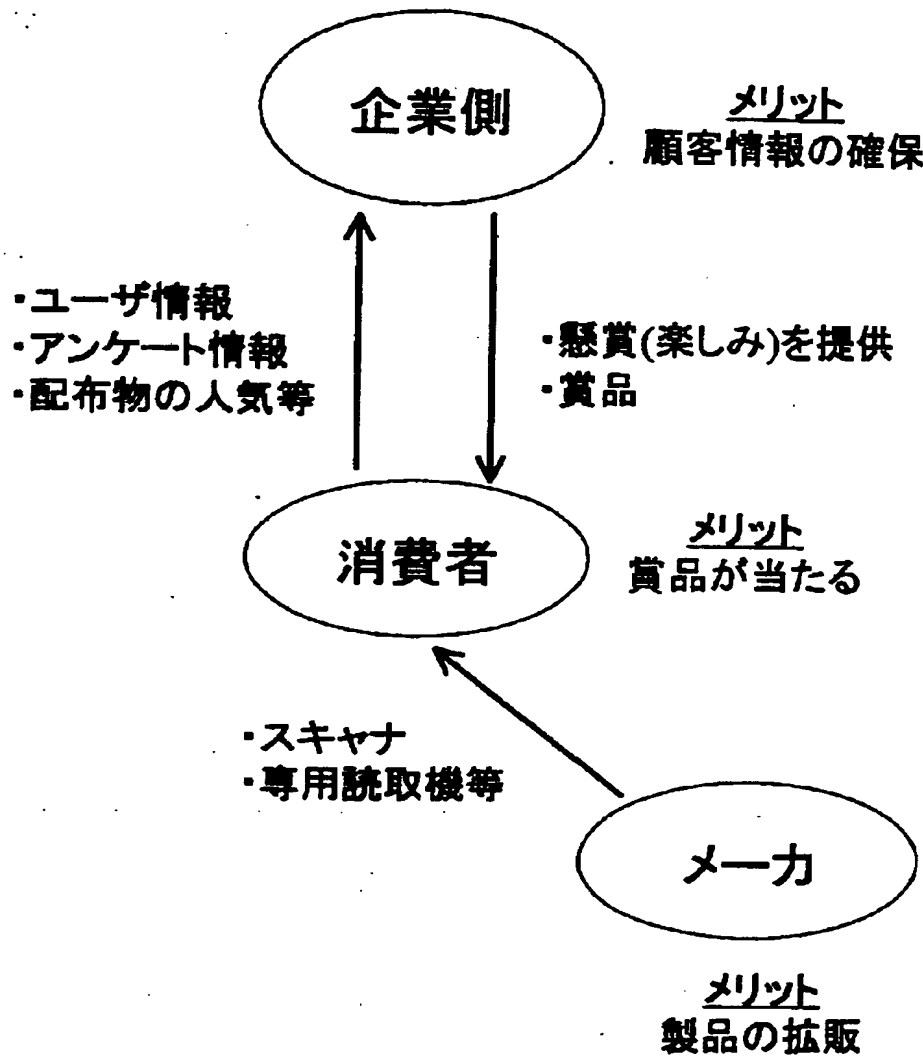
【図 8】

第2の実施形態における消費者側から企業側への情報の伝達を示す図



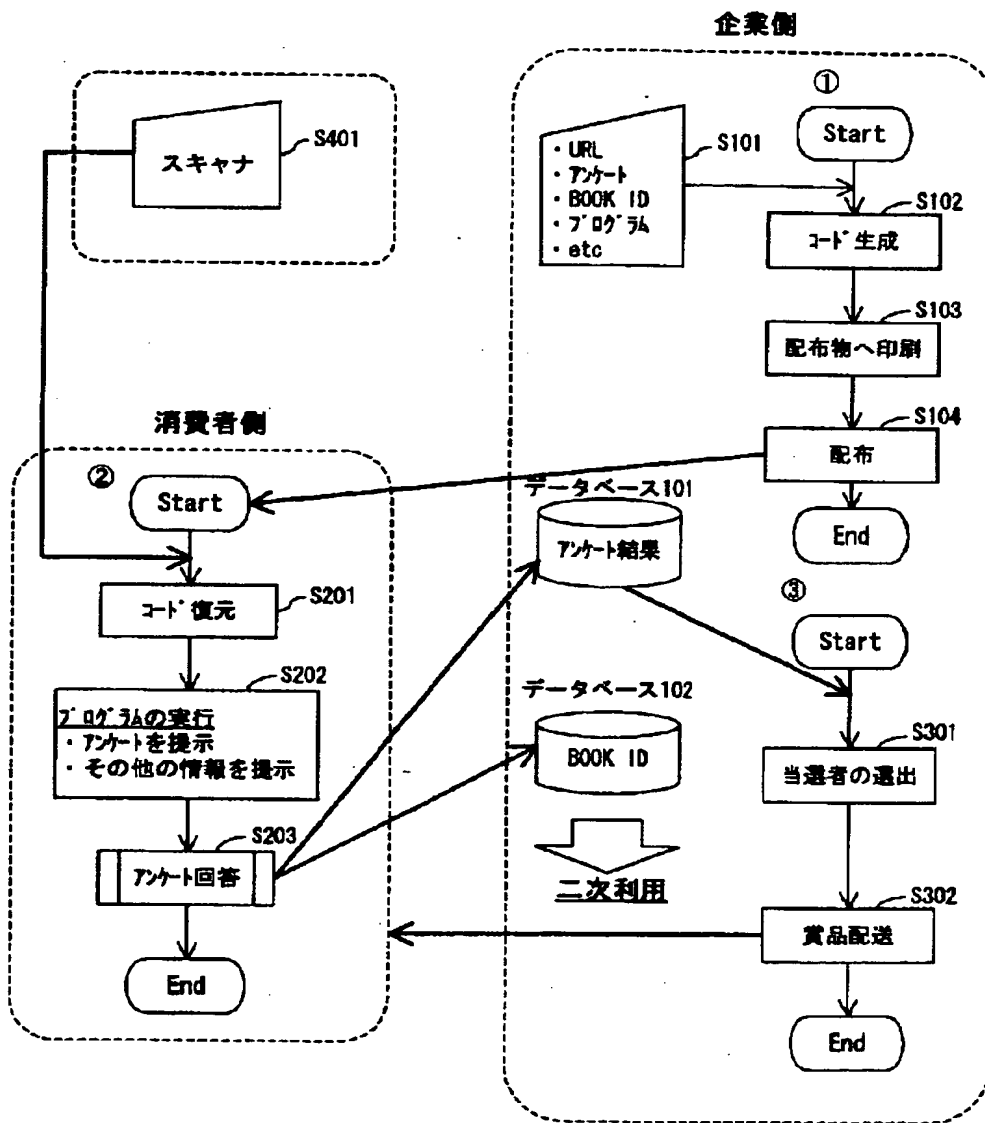
【図9】

本システムで受ける企業側と消費者側、及び
メーカーの利益を示す図



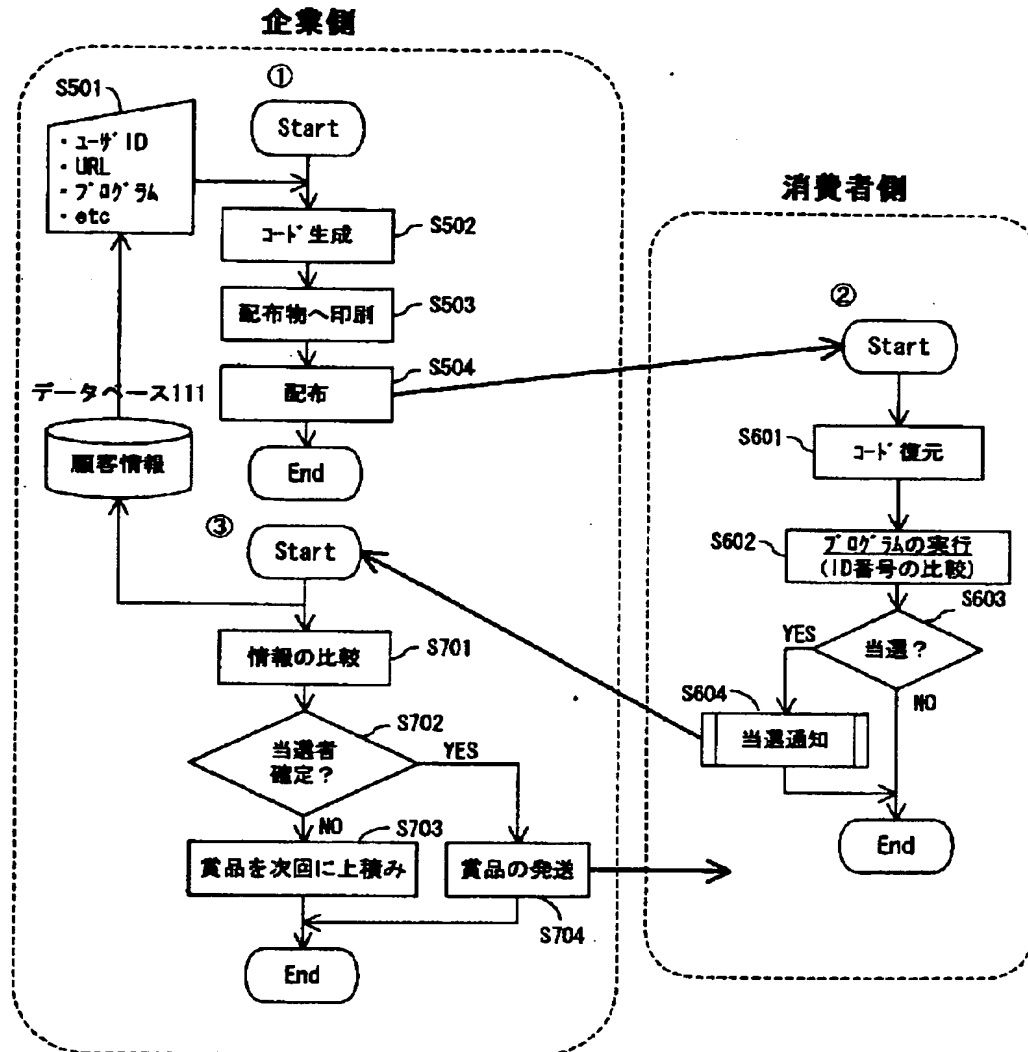
【図10】

第1の実施形態の処理を示すフローチャート



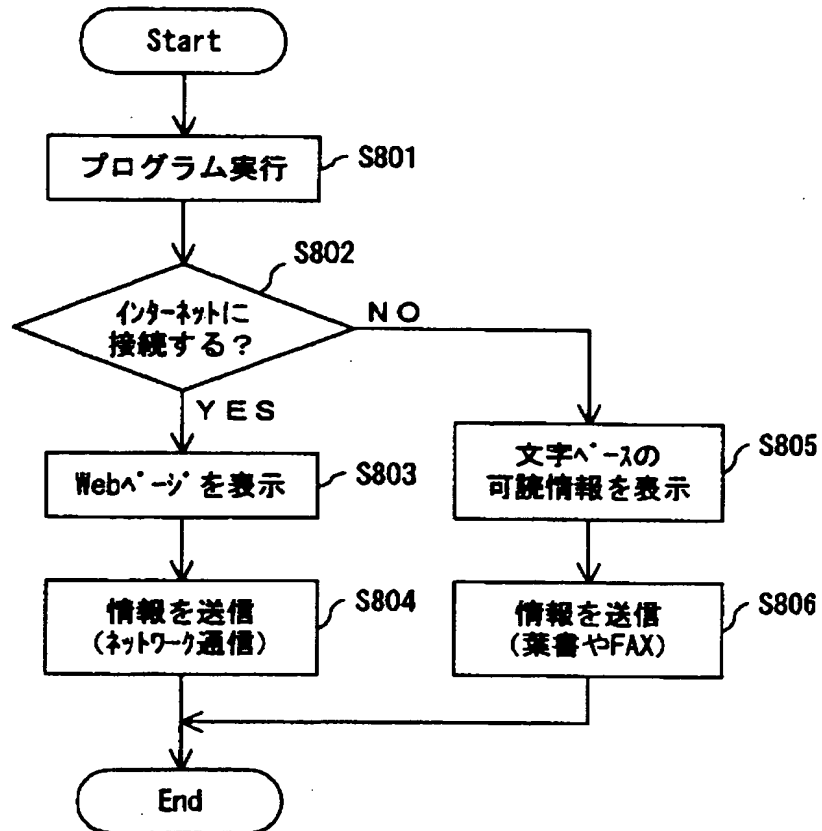
【図 11】

第 2 の実施形態の処理を示すフローチャート



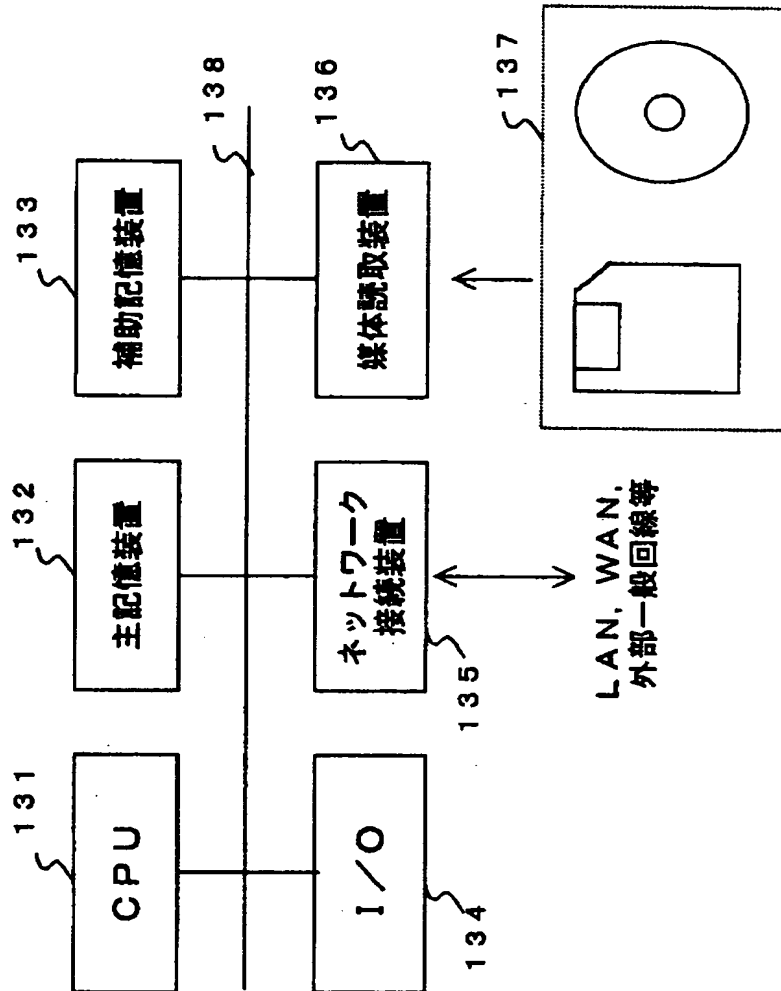
【図 1 2】

消費者側から企業側への通知処理を示す
フローチャート



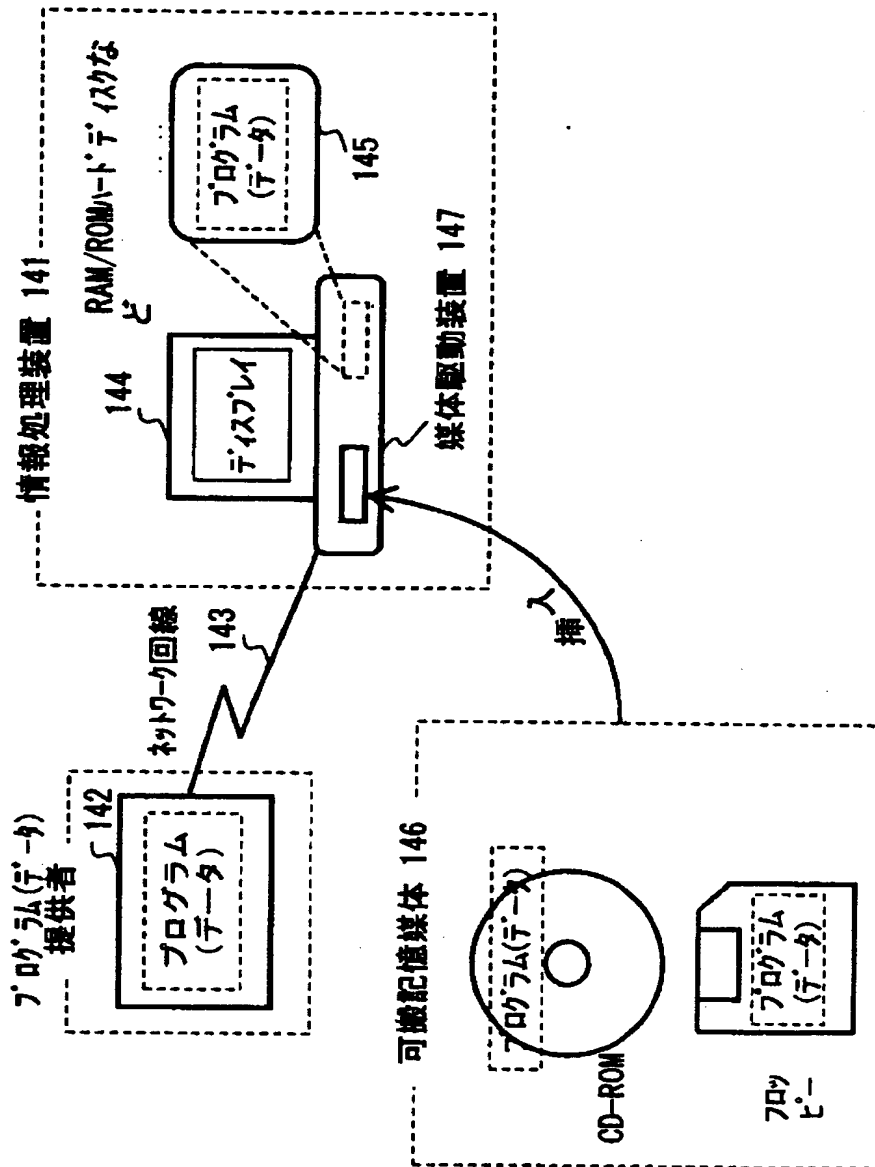
【図 13】

コンピュータシステム環境図



【図14】

記憶媒体の例を示す図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、企業側と消費者側の間の双方向の情報交換を円滑に行う為の情報伝達システムを提供することを課題とする。

【解決手段】 企業側が消費者側に提示する情報、消費者側から企業側へ情報を伝達する際に必要となる情報の伝達先、情報の伝達を円滑に進める為の格納プログラムを、パターン情報に変換して配布物に印刷して消費者に配布する。格納プログラムは、ネットワークへの接続を行うか否か等、消費者側の環境に即した情報伝達の為の支援を行う。またパターン情報に当選者のID番号を格納することによりその場で当たりがわかる懸賞を実現する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.